

年 組 名前

2020年10月27日付福井版

ごみのない海 生態系守ろう



海的环境保全や廃棄物対策、漁場保全の基礎資料とするため、北陸中（福井市文京1）の3年生21人が、県の事業に協力して、坂井市三国町の三国サンセットビーチで「海辺の漂着物調査」を実施した。（松田土郎）

北陸中生が三国で漂着物調査

県は環日本海環境協力センターの依頼で、一九九六（平成八）年度から漂着物調査をしている。事前の授業で調査について学んだ生徒たちは五班に分かれ、三班は打ち上げられている缶や紙などのごみを拾い集めた。二班は砂一匙をふるいにかけて五mm以下のプラスチック

マイクロプラスチック「多かった」

ック片がいくつ含まれているかを調べるマイクロプラスチック調査をした。

生徒たちは漂着物をプラスチック類やゴム類、金属類など八種類に分類し、重量と個数を調査票に記入していった。含有、吸着した化学物質が食物連鎖に取り込まれることで、生態系に及ぼす影響が懸念されているマイクロプラスチックも、プラスチック製品の原料のレジンペレットや発泡スチロール片、肥料コーティングカプセルなど八種類に分けて個数を記入していた。

マイクロプラスチックの調査をした小林歩乃佳さん（二巴）は「思ったより多かった。肥料を覆う肥料コーティングカプセルなんて初めて知りましたが、海を汚す物に使わないほうがいいと思います」と話している。生徒たちは調査結果を壁新聞にまとめ「全国エコ活コンクール」（日本環境協会主催）に応募する。

砂をふるいにかけてプラスチック片を選別する生徒たち。坂井市三国町宿の砂浜で

問1：マイクロプラスチックとはどんなものでしょうか。（ ）

にあてはまる言葉を、本文中から抜き出しましょう。

（ ）mm以下のプラスチック片。

問2：マイクロプラスチックに関して、どんなことが心配されている

のでしょうか。本文中から36字で抜き出し、はじめと終わりの3字ずつを書きましょう。句読点も含めます。

□ □ □ ~ □ □ □

問3：北陸中3年生の漂着物調査について、次の（ ）にあてはまる言葉を本文中から抜き出しましょう。

【海辺の漂着物調査】

1 調査の目的

海の環境保全や(①)、漁場保全の基礎資料とするため

2 調査場所

坂井市三国町の(②)

3 調査の実際

3つの班	2つの班
調査について事前学習	
缶や(③)などのごみを 拾い集める	(④) 1ℓをふるいにかける
プラスチック類、ゴム類、 (⑤)などを 8種類に分類	マイクロプラスチックをレジ ンペレット、発泡スチロール片、 肥料コーティングカプセルなど (⑥)種類に分類
(⑦)と個数を記入	個数を記入

【活用にあって】

2020年7月1日からレジ袋有料化が義務付けられました。レジ袋がプラスチックごみ全体に占める割合はわずか2%ほどだそうです。意外な数字です。

レジ袋有料化は、プラスチックごみを大幅に削減するためというよりは、私たち一人一人が生活意識を変え、より良い未来を作り上げるための第一歩ということなんですね。

北陸中3年生の取り組みは、そのレジ袋の行き着く先の状況を調査したものです。漂着物調査は具体的にどのように行われたのか。その内容を新聞記事から丁寧に読み取りましょう。

解答例

問1：5

問2：含有、～す影響

問3：①廃棄物対策 ②三国サンセットビーチ

③紙 ④砂 ⑤金属類 ⑥8 ⑦重量